

## 京都府環境審議会廃棄物・循環型社会形成部会 議事要旨

1. 開催日時 令和元年9月17日(火曜日)午前10時から12時まで

2. 場所 京都府庁職員福利厚生センター 第2・第3会議室

3. 出席者

【審議会委員】 酒井部会長、黒坂委員、郡嶋委員、汐見委員、清水委員、西村委員、橋本委員、長谷川委員、山田委員(計9名)

注※上記のうち、次の委員は代理出席

汐見委員(代理:西川事務局長)、長谷川委員(代理:八代循環型社会推進部長)

【特別委員】 河本特別委員(代理:山根資源循環課長)(計1名)

【事務局】 高屋府民環境部副部長、松山環境技術専門監、笠原循環型社会推進課長、その他関係課員

【報道機関】 2名

【傍聴者】 2名

4. 議題

(1) 審議事項

京都府土砂等による土地の埋立て等の規制に関する条例における今後の規制のあり方について

(2) 報告事項

京都府環境基本計画改定の進捗状況について

京都府プラスチック削減研究会の検討状況について

5. 議事概要

(1) 審議事項

京都府土砂等による土地の埋立て等の規制に関する条例における今後の規制のあり方について

- 事務局案どおりの骨子案でパブリックコメントを行うことについて部会での了解を得られた。

(主な意見)

- 面積要件を下げ、小規模案件も広く対象とした方が良いのではないか。

- 小規模案件は市町村レベルでの規制とするという場合分けを念頭に入れても良いのではないか。
- 一団地規制を盛り込んだことで、いくつかに分けて埋立てを行う事案も捕捉できると思うので、この内容で良い。
- 埋立土砂については、出口規制の排水検査も重要かと思うので周辺の河川や公共用水の検査でカバーする等を検討されてはどうか。
- 京都市域を条例適用対象外としているが、京都市域の規制をどうしていくかは、今後の検討課題かと思う。

## (2) 報告事項

京都府環境基本計画改定の進捗状況について

京都府プラスチック削減研究会の検討状況について

### (主な意見)

- 京都の地域特性として観光対応は重要だと思う。
- 民泊利用者のゴミ出し指導をお願いしたい。
  - 現在も法律及び条例に基づき指導をしているが更に指導を強化していきたい。
  - 多言語対応だけでは限界があり、京都府と京都市がしっかり連携して取り組む方が良い。
- 京都府と市町村の施策上の連携を盛り込んで欲しい。
- レジ袋有料化の益金は、環境保全費用に充てるのが良い。